

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当 9月30日・3月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
公告の方法	下記ホームページに掲載する。 http://www.nsg.co.jp/
会計監査人	新日本有限責任監査法人

ご住所変更などのお届出およびご照会、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社の口座に当社の株式を預けられていない株主様の株式につきましては、下記の電話ご照会先までお問い合わせください。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(最低取引単位に満たない1~999株の株式)をご所有の場合、当社に対して、
(1)買取請求または
(2)買増請求をすることができます。
実際のご請求に際しては、一般口座ご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社までお問い合わせください。特別口座の株主様(証券会社の口座に当社の株式を預けられていない株主様)につきましては、下記の電話ご照会先までお問い合わせください。

郵便物ご送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
電話ご照会先 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

ホームページのご案内



当社グループのホームページでは、決算情報や最新プレスリリースなど、さまざまな情報を掲載しております。どうぞ活用ください。

<http://www.nsg.co.jp/>

IRカレンダー(今後の予定)

2016年	
1月 29日(金) 第3四半期決算発表	7月 第1四半期決算発表
2月	8月
3月	9月
4月	10月 第2四半期決算発表
5月 通期決算発表	11月
6月 定時株主総会、報告書ご送付	12月 中間報告書ご送付

買取制度

株主様がご所有の単元未満株式について、当社に対して買取りの請求をすることができる制度です。

買増制度

株主様が、当社に対して、ご所有の単元未満株式の数とあわせて1単元(1,000株)となる数の株式の買増しの請求をすることができる制度です。

買取・買増制度の例(1,600株ご所有の場合)



株主の皆様へ

日本板硝子株式会社
第150期 中間報告書
2015年4月1日 ~ 2015年9月30日

「ガラス技術で世界に変革を」

証券コード: 5202

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第150期中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。当期上半期における当社グループの市場の状況は、事業・地域によって好不調が分かれてきました。主として高機能ガラス事業の一部であるディスプレイ事業における厳しい市場環境の影響により、当期上半期の営業利益は、当初の見通しを下回りました。

当期の中間配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、実施を見送ることとさせていただきます。株主の皆様には誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

当社は、高付加価値(VA)製品比率の拡大など現在進めております中期経営計画の諸施策を一層加速させてまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループへのご理解とご支援をお願い申し上げます。

2015年12月3日



日本板硝子株式会社
代表執行役社長兼CEO 森 重樹

CEOインタビュー

Q 今期の業績とその要因を教えてください。

当期上半期の連結売上高は、前年同期から4%増の3,217億35百万円となり、連結営業利益は前年同期並みの60億88百万円となりました。

建築用ガラス事業では、営業利益は、主に投入コストの低下や北米市場のさらなる改善によって、前年同期を上回りました。売上高も、北米市場の改善進捗や円安に伴う為替換算の影響により、前年同期に比べて増加しました。

自動車用ガラス事業の売上高は、円安に伴う為替換

算の影響などにより、前年同期をわずかに上回りました。この事業の売上高の4割強を占める欧州においても、現地通貨ベースで売上高・営業利益ともに改善の兆しが見られました。

高機能ガラス事業では、ディスプレイ事業における厳しい競争環境と当社グループの製造拠点での生産不調により、売上高および営業利益は前年同期を下回りました。エンジン・タイミングベルト用のガラスコードの数量は前年同期並みで、多機能プリンター向け部材の需要は前年同期より改善しました。

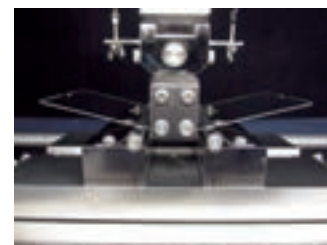
※その他の連結業績ハイライトについては、本報告書の3ページをご覧ください。

Q 通期の見通しについて教えてください。

当期末半期において、当社グループの主要な事業における市場の状況は、依然として厳しい状況が見込まれるディスプレイ事業を除いて、徐々に改善していくものと考えています。こうした状況の中、通期の連結業績予想としては、売上高6,500億円、営業利益190億円を見込んでいます。

欧州では、建築用ガラス市場はおおむね横ばいで推移する見通しです。また、自動車用ガラス市場は、欧州経済危機以前の水準をなお大幅に下回ると予想されますが、直近の乗用車販売の回復傾向が継続し、それによる好影響を受けると考えています。日本では、建築用ガラス市場は若干の改善を見込んでおり、また自動車用ガラス市場では、総じて横ばいで推移する見通しです。北米では、数量は堅調に推移すると見込んでいます。南米では、自動車用ガラスの数量は厳しい経済環境の影響を引き続き受けると考えています。東南アジア市場はさらに改善し、太陽電池用ガラスの需要も改善が続く見込みです。高機能ガラス市場は、製品や用途によって、好調と低調が混在する見通しです。

当社グループは、収益改善に向けて、引き続き、設備稼働率の極大化と高付加価値(VA)製品の売上比率の向上に取り組んでいきます。



glanova®

glanova®は化学強化用の新組成のガラスです。高い強度を有し、スマートフォン等のカバーガラスとして使用されます。

Q 代表執行役社長兼CEOに就任されてから約8か月が経過しましたが、あらためて業績改善に向けた取り組みをお聞かせください。

当社グループは2014年5月に長期戦略ビジョンを設定しました。この長期戦略ビジョンは当社グループが高付加価値ガラス企業[VAガラスカンパニー]に変容・変革することを目指すものです。VAとは、英語のValue Addedの頭文字に由来しています。当社グループはこのビジョンの下で、持てる経営資源を高付加価値(VA)製品の開発と、その拡販に注力しています。

たとえば、建築用ガラスでは、北米をはじめ各国で、それぞれの需要に応じ、当社の独自技術を用いたVA製品をさまざまな用途で展開しています。自動車用ガラスでは、スーパーUVカットガラスや、ヘッドアップディスプレイ対応ガラスなどの高付加価値ガラスの商品化を次々に進めています。高機能ガラスでは、当期上半期において、ディスプレイ事業は厳しい市場環境の影響を受けましたが、今後とも需要増が予想されるカバーガラス向け化学強化ガラスの新ブランド「glanova®」の投入など新たな取り組みを行っています。今後も、それぞれのリージョン(地域)に即したVA製品を展開していきます。また、低調な地域・事業においては、引き続き収益改善等の施策を推し進め、好調な地域・事業においては、さらに収益増強に取り組んでいきます。

当期の中間配当につきましては、誠に遺憾ながら実施を見送ることとさせていただきますが、このような取り組みを通じ、今後、少しでも早く復配できるような収益改善に全力を傾けていく所存であります。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

※具体的なVA製品のご紹介については、本報告書の4ページをご覧ください。

連結業績ハイライト

連結損益計算書(要旨)

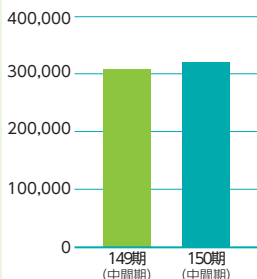
	第150期 (中間期) (2015年4月1日～ 2015年9月30日)	第149期 (中間期) (2014年4月1日～ 2014年9月30日)	第149期 (2015年3月期) (2014年4月1日～ 2015年3月31日)
売上高(百万円)	321,735	309,477	626,713
営業利益(百万円)	6,088	6,093	16,848
税引前四半期(当期)利益(△は損失)(百万円)	△4,667	10,862	4,807
四半期(当期)利益(△は損失)(百万円)	△1,603	8,285	2,893
親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益(△は損失)(百万円)	△2,738	7,884	1,668
基本的1株当たり四半期(当期)利益(△は損失)(円)	△3.03	8.73	1.85

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

	第150期 (中間期) (2015年4月1日～ 2015年9月30日)	第149期 (中間期) (2014年4月1日～ 2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,039	△910
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,523	△11,031
(フリー・キャッシュ・フロー)	△20,562	△11,941
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,323	9,954
現金および現金同等物の四半期末残高	47,004	51,473

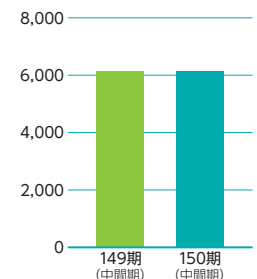
売上高

(単位:百万円)



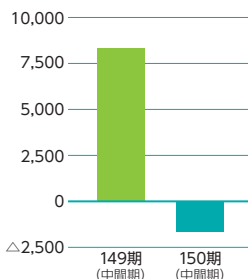
営業利益

(単位:百万円)



四半期損益

(単位:百万円)



注: 当社は、第146期より、国際会計基準(IFRS)に基づいて連結財務諸表を作成しています。
当社は、当期(2016年3月期)より営業利益の定義の変更を行っており、上記に記載の営業利益は、個別開示項目ベースの営業利益を記載しています。

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	第150期 (中間期) (2015年9月30日)	第149期 (2015年3月期) (2015年3月31日)
非流動資産	646,374	652,964
流動資産	260,992	267,142
資産合計	907,366	920,106
負債合計	723,935	734,098
資本合計	183,431	186,008
負債および資本合計	907,366	920,106

事業別連結売上高構成比



● 建築用ガラス 欧州	15%
● 建築用ガラス 日本	11%
● 建築用ガラス 北米	6%
● 建築用ガラス その他地域	9%
● 自動車用ガラス 欧州	22%
● 自動車用ガラス 日本	9%
● 自動車用ガラス 北米	14%
● 自動車用ガラス その他地域	6%
● 高機能ガラス	8%

特集 NSGグループの高付加価値製品(VA製品)

北米地域建築用ガラス事業におけるVA製品

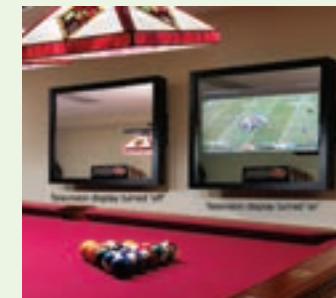
当社は長期戦略ビジョンおよび中期経営計画において、「VAガラスカンパニー」を目指すことを掲げ、VA製品の売上比率の拡大に注力しています。その中で、現在、VA製品売上比率が最も高い、北米地域の建築用ガラス事業における製品の一部をご紹介します。

1. 当社独自のオンラインCVDコーティング技術による高付加価値製品

NSG TEC™: ガラス表面に透明な導電膜を付けた製品です。薄膜系太陽光発電モジュールの基板ガラスや、タッチパネル型の広告宣伝用大型ディスプレイ(デジタルサイネージ)、商業冷蔵庫の高断熱ガラスドアなど、電気が流れる部分に使用されます。

OptiView™: ガラス表面に反射防止膜を成膜した製品です。ガラスへの映り込みを抑えるため、美術品の展示ケースや、デジタルサイネージの画面に使用されます。

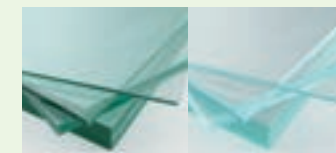
MirroView™: ガラス表面に高反射ミラーをコーティングした製品です。一見普通の鏡に見えますが、ガラスの後ろにあるディスプレイ画面をオンにするとガラス越しに映像が見え、ディスプレイ画面をオフにすると鏡に早変わりします。広告ディスプレイ・TV・鏡が多く使用される、ホテルやショッピングモールに使用されています。



MirroView™は一見普通の鏡ですが(左)、ガラスの後ろにあるディスプレイ画面の電源を入れるとガラス越しに画面が見えます(右)

2. 世界的に注目を集める高透過ガラス

Optiwhite™(オプティホワイト®): 鉄分の含有量を少なくすることで、通常のフロート板ガラスに見られる青みを抑えた透明感のあるガラスです。ガラスを通して見える物の色合いが、より忠実に表現でき、展示物の色味をありのままに表現するガラスショーケースや、デザイン性の高い建築物に使用されています。



フロート板ガラス オプティホワイト®



トピックス

高透過ガラス「オプティホワイト®」の国内生産開始について

Optiwhite™(オプティホワイト®)は北米で人気の高い製品の1つですが、近年日本でも採用が増えています。従来は、当社グループの海外生産拠点から輸入した製品を日本国内で販売しておりましたが、国内でのさらなる需要増が期待されるため、2015年7月より、日本国内で生産した製品の販売を開始いたしました。

東京駅八重洲口の商業施設「グランルーフ」でも当社のオプティホワイト®が使用されています。

会社概要 (2015年9月30日現在)

商号 日本板硝子株式会社
 本店 〒108-6321
 東京都港区三田三丁目5番27号
 (住友不動産三田ツインビル西館)
 TEL: 03-5443-9500

設立 1918年11月22日
 従業員数(連結) 27,468人
 資本金 116,449百万円
 上場証券取引所 東京(証券コード:5202)
 お問い合わせ <http://www.nsg.co.jp/ja-jp/contact-us>

役員 (2015年9月30日現在)

当社は、指名委員会等設置会社制度を採用しています。

取締役

社外取締役	取締役	役員	所属
朝香 聖一	朝香 聖一	社長	指名委員会
小宮 弘	小宮 弘	取締役	指名委員会(委員長)
ギュンター・ツォーン	ギュンター・ツォーン	取締役	指名委員会
山崎 敏邦	山崎 敏邦	取締役	指名委員会
森 重樹	森 重樹	取締役	指名委員会
クレメンス・ミラー	クレメンス・ミラー	取締役	指名委員会
マーク・ライオンズ	マーク・ライオンズ	取締役	指名委員会
諸岡 賢一	諸岡 賢一	取締役	指名委員会
			監査委員会
			報酬委員会

執行役員

代表執行役社長兼CEO	森 重樹	代表執行役副社長兼CFO	マーク・ライオンズ
代表執行役副社長兼COO	クレメンス・ミラー	執行役員副社長	諸岡 賢一

執行役員

上席執行役員	トニー・フラッジリー	執行役員	藤井 一光
上席執行役員	藤木 一郎	執行役員	梯 慶太
上席執行役員	藤巻 和彦	執行役員	加藤 雅也
上席執行役員	日吉 孝一	執行役員	小林 史朗
上席執行役員	今西 実	執行役員	ポール・レーベンスクロフト
上席執行役員	岸本 浩	執行役員	イアン・スミス
上席執行役員	フィル・ラムジー	執行役員	土江 伸二
上席執行役員	ヨヘン・セトルマイヤー	執行役員	渡辺 泰之
上席執行役員	ミレナ・スタニッチ		
上席執行役員	フィル・ウィルキンソン		

グローバルネットワーク -主要製造拠点-

当社グループは世界各地に主要な製造拠点をもち、その製品は世界130カ国以上で販売されています。



株式情報 (2015年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	1,775,000,000株
発行済株式の総数	903,550,999株
株主数	74,493名

大株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	34,573,000	3.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	33,471,000	3.70
CBNY DFA Intl Small Cap Value Portfolio	20,531,000	2.27
Mellon Bank, N.A. As Agent For Its Client Mellon Omnibus US Pension	14,125,617	1.56
State Street Bank and Trust Company	11,579,703	1.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	10,328,000	1.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	10,315,000	1.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	10,294,000	1.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	10,292,000	1.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3)	10,178,000	1.12

所有者別の持株比率

